

報道機関各位

令和8年7月7日

都内初 「アイガモロボ」が出動！ 全国で注目されるスマート農業技術を、 城山公園の田んぼに導入しました。

市は、^{じょうやま}城山公園(国立市泉5丁目21-20)内の田んぼに、自動抑草ロボット「アイガモロボ」を都内で初めて導入しました。

市の貴重な水田環境を守り、次世代へつなぐため、地域団体「田んぼ共創ラボ くにたち」の活動の一環として、東京都の新規事業「東京の田んぼ復活プロジェクト」の支援を受け、人手不足の解消や環境負荷低減という農業の課題に対し、最新テクノロジーを活用して解決に挑みます。

田植え後から5週間程度の稼働が最も効果があるタイミングであるため、稼働の姿が見られるのはこの時期だけとなります。毎日稼働しているわけではありませんので、運が良ければ見ることができます。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

概要

■日時 令和8年7月18日(土)ごろまで。
※稼働は1時間程度(時間帯は未定)

■場所 城山公園(国立市泉5丁目21-20)

■備考 生育に影響を及ぼす可能性があるため、田んぼには入らない旨の記載をお願いします。
毎日稼働をしているわけではありません。
取材をご希望の際は、稼働予定日を調整いたしますので、問い合わせ先までご連絡ください。



▲「アイガモロボ」稼働の様子。



▲市ホームページ。

問い合わせ

国立市 都市整備部 南部地域まちづくり課 農業振興係
TEL042-576-2111 内線(344)